株主のみなさまへ 2016年度 中間期株主通信

2016年4月 1日から 2016年9月30日まで





トータル・モーション・コントロールの概念図

当社グループは、減速機・モーター・センサー・ドライバー・コントローラー・その他要素までを統合した「トータル・モーション・コントロール」の提供を通じて、一層の成長を目指します。

●ハーモニックドライブ・CSDシリーズ 当社の主力製品であるCSG/CSFシリーズと比 べて、極限まで扁平化を追求した製品です。軸 方向の長さを約50%短縮し、各種装置の更な る省スペース化を実現します。コンパクトなデ ザインを要求する産業用ロボットやヒューマノイ ドロボットに採用されています。



CONTENTS

ごあいさつ
当上期の連結業績について
中間財務諸表〔連結〕(要旨)
用途5
トピックス7
グループ会社及び海外拠点 8
会社情報9
株式情報10

ごあいさつ

株主の皆様には日頃より温かいご支援をいただきありがと うございます。

当社グループの2016年度中間期(2016年4月1日から9月30日まで)の事業概況についてご報告いたします。

当上期の事業環境について

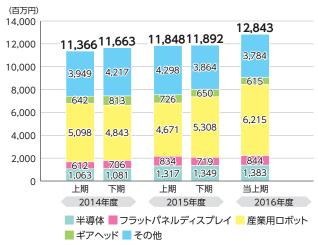
●製造業の設備投資による需要増加の影響を受け良好に推移

当社グループの事業環境は、米国の利上げ見送りや英国の EU離脱決定など世界経済に不安定な動きが見られたものの、 製造業における自動化・省力化のニーズは強く、設備投資が旺 盛であったことから、総じて良好に推移しました。

なかでも、スマートフォン、タブレット、家電製品などの製造ラインにおいて、自動化、効率化、品質向上を主眼としたロボット投資が行われたことにより、産業用ロボット向けが大きく増加しました。また、半導体や液晶・有機ELディスプレイなどの技術革新を背景に、半導体製造装置向けやフラットパネルディスプレイ製造装置向けも高水準の需要が継続しました。

このように当上期の事業環境は、前年度に引き続き堅調に推 移しました。

当社(単体)の用途別売上高の推移



※当中間期株主通信におきましては、第2四半期累計期間を中間期又は上期と表示しております。



当上期の連結業績について

● 前年同期比で増収

当上期の地域別業績は、国内においては産業用ロボット向け、半導体製造装置向けが増加したことにより、売上高は増加したものの、設備投資に伴う減価償却費の増加等により営業利益は微減となりました。

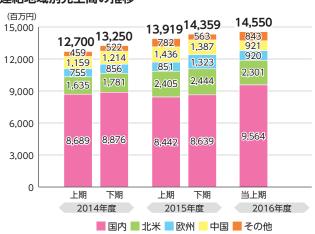
北米では医療機器向け、産業用ロボット向け、半導体製造装置向け、工作機械向けの需要が増加した影響を受け、ドルベースでの売上高は増加したものの、為替が円高に転じた影響から減収減益となりました。

欧州においては、産業用ロボット向けの需要が増加し、増益 となりました。

この結果、当上期の売上高は145億50百万円(前年同期比4.5%増加)、営業利益は39億78百万円(前年同期比0.7%減少)、経常利益は41億63百万円(前年同期比3.2%増加)、親会社株主に帰属する中間純利益は27億52百万円(前年同期比6.1%増加)となりました。

なお、中間配当は1株あたり前年より1円増配の10円を実施しました。

連結地域別売上高の推移



今後の見通しと取り組みについて

● 価値ある製品とサービスを提供、モーション・コントロール 業界での存在価値向上

今後の見通しにつきましては、世界経済の回復は続いていく ことが見込まれますが、成長は緩やかでばらつきがあり、下方リ スクが高まってきている懸念から引き続き予断を許さない状況 が続くと予想されます。

当社グループの事業環境につきましても、先行きの不透明感は拭いきれないものの、産業用ロボット向けの需要増加に加え、人との協調型、サービス用、先進医療ロボットなど、新たな用途向けが成長をけん引するものと予測しております。

このような状況のもと当期の連結経営成績は、売上高300億円(前期比6.1%増加)、営業利益81億円(前期比6.3%増加)、経常利益84億円(前期比7.3%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益58億円(前期比16.0%増加)を見込んでいます。

当社グループは、トータル・モーション・コントロールを提供する技術・技能集団として、お客様のニーズに適合した価値ある製品とサービスを提供することによりモーション・コントロール業界において存在感を高めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年12月 代表取締役会長 伊藤 光昌 代表取締役社長 長井 啓

配当金振込制度のご案内

株主様ご所有の株式に対する配当金(中間配当金を含む)をご指定の預貯金口座へ直接ご入金する制度がございます。この制度で、一度配当金の振込先をご指定いただきますと、今後の配当金はご指定の口座へ自動的にお振込いたします。確実に配当金をお受取りいただけますので、振込口座をご指定いただいていない株主様におかれましては、是非この配当金振込制度をご利用されることをおすすめいたします。配当金振込制度をご利用される場合は、

みずほ信託銀行証券代行部(株主様専用ご照会ダイヤル) ○○ 0120-288-324 にご請求いただき、お手続きく

ださいますようお願い申し上げます。

中間財務諸表〔連結〕(要旨)

中間連結貸借対照表

一口(注)に対して (単位: 百万円) (単位: 百万円)			(単位:百万円)	
科目	2015年度 (前上期末) 2015年 9月30日現在	2016年度 (当上期末) 2016年 9月30日現在	2015年度 (前期末) 2016年 3月31日現在	
資産の部				
流動資産	23,615	24,805	23,922	
現金及び預金	13,077	13,666	12,876	
受取手形及び売掛金	8,138	8,563	8,397	
有価証券	30	_	30	
たな卸資産	1,801	1,938	1,907	
その他	567	637	710	
固定資産	22,012	26,296	24,827	
有形固定資産	8,072	10,532	9,807	
無形固定資産	162	158	181	
投資その他の資産	13,777	15,605	14,837	
投資有価証券	572	433	457	
関係会社株式	11,985	13,960	13,166	
退職給付に係る資産	1,036	1,025	1,012	
その他	187	190	207	
貸倒引当金	△5	△5	△5	
資産合計	45,628	51,101	4 8,749	
(注) 記載を願ける下田土港を切り怜アアまごしております				

資産合計

511億1百万円 営業活動によるキャッシュ・フローの増加 に伴い現金及び預金 が増加、設備投資を 実行したことに加え、保 有形固定資産が増加 したことに加え、保 有する関係会社株式 の時価上昇などにより 前期末比で23 億51百万円増加。

負債合計 104億45百万円

未払法人税等が増加したことに加え、 繰延税金負債の増加などにより、前期 未比で5億86百万円増加。

純資産合計

406億56百万円 為替換算調整勘定 は減少したが、利益 剰余金が増加したこ となどから前期末比 で17億65百万円増

加。

			(単位:百万円)
科目	2015年度 (前上期末) 2015年 9月30日現在	2016年度 (当上期末) 2016年 9月30日現在	2015年度 (前期末) 2016年 3月31日現在
負債の部			
流動負債	5,203	6,364	5,944
支払手形及び買掛金	1,915	2,314	2,308
短期借入金	60	10	40
1年以内返済予定 の長期借入金	220	196	211
未払法人税等	811	1,067	756
賞与引当金	606	643	808
役員賞与引当金	94	97	178
製品補償損失引当金	53	80	110
その他	1,442	1,955	1,531
固定負債	3,647	4,080	3,913
長期借入金	742	546	640
リース債務	187	139	160
繰延税金負債	2,175	2,831	2,540
役員退職慰労引当金	366	339	384
その他の引当金	63	63	72
退職給付に係る負債	61	68	63
_ その他	51	92	51
負債合計	8,851	▶10,445	9,858
純資産の部			
株主資本	30,826	34,330	32,401
資本金	1,610	1,610	1,610
資本剰余金	5,203	5,203	5,203
利益剰余金	26,317	▶29,820	27,892
自己株式	△2,305	△2,305	△2,305
その他の包括利益累計額	4,169	4,657	4,720
その他有価証券 評価差額金	3,358	4,866	4,146
為替換算調整勘定	682	→ △250	508
退職給付に係る調整累計額	127	42	65
非支配株主持分	1,781	1,668	1,769
純資産合計	36,777	► 40,656	38,891
負債純資産合計	45,628	51,101	48,749

⁽注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



中間連結損益計算書			
	2015年	2016年度	(単位:百万円)
IN 🗆	2015年度 (前上期)	2016年度 (当上期)	2015年度 (前期)
科目	2015年4月 1 日~	2016年4月1日~	2015年4月1日~
	2015年9月30日	2016年9月30日	2016年3月31日
売上高	13,919	14,550	28,278
売上原価	7.125	7.654	14.992
ルニホ 画	7,123	7,034	14,332
売上総利益	6,793	6,896	13,286
販売費及び一般管理費	2,788	2,917	◆ ¹ 5,667
営業利益	4.005	3,978	7.618
古来们缸 	4,005	3,370	7,010
営業外収益	124	319	352
二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	124	313	
営業外費用	95	134	141
		154	
経営利益	4.034	4.163	7.829
42113 T 3111		.,	7,025
特別利益	1	0	1
特別損失	1	32	27
税金等調整前中間	4.034	4,131	7.803
(当期)純利益	7,007	7,131	7,005
法人税、住民税			
及び事業税	1,059	1,179	2,283
法人税等調整額	269	92	325
中間(当期)純利益	2,705	2,859	5,195
非支配株主に帰属する			
中間(当期)純利益	111	106	193
			,
親会社株主に帰属する 中間 (当期) 純利益	2,594	2,752	5,001

売上高

145億50百万円 製造業における自動 化・省力化ニーズが 強く、設備投資が旺 盛であったことから 良好に推移。用途 別では産業用ロボッ ト向け、半導体製造 装置向けが増加。 前年同期比4.5%の 増収。

営業利益

39億78百万円 新工場棟建設や生

産能力増強投資に伴 う減価償却費の増加 に加え、販売費及び 一般管理費も増加し たことにより、前年 同期比0.7%の減益。

親会社株主に帰属 する中間純利益

27億52百万円

税金等調整前中間 純利益が増益になっ たことに加え、税金 費用が減少し、前年 同期比6.1%の増益。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位	:	百万円)	

	科目	2015年度 (前上期) 2015年4月1日~ 2015年9月30日	2016年度 (当上期) 2016年4月1日~ 2016年9月30日	2015年度 (前期) 2015年4月1日~ 2016年3月31日
	営業活動による キャッシュ・フロー	2,938	> 3,382	6,499
	投資活動による キャッシュ・フロー	△1,795	≻ △1,033	△4,394
	財務活動による キャッシュ・フロー	△290	▶ △991	△1,384
	現金及び現金同等物に 係る換算差額	62	△400	△11
	現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	915	957	708
	現金及び現金同等物の 期首残高	9,730	10,439	9,730
	現金及び現金同等物の 中間期末 (期末) 残高	10,645	11,396	10,439
н	(注) 記載全額け五万四夫滞	た打り 全てて事	テレアおります	

¦ (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業活動による キャッシュ・フロー 33億82百万円

法人税の支払 い、売上債権 の増加による資 金の減少があ ったが、税金等 調整前中間純 利益の計上によ り、33億82百 万円の収入。

投資活動による キャッシュ・フロー

△10億33百万円 主に設備投資 による有形固 定資産の取得 により、10億 33百万円の支

財務活動による キャッシュ・フロー

△**9**億**91**百万円 配当金の支払 いや長期借入 金の返済によ り、9億91百 万円の支出。

⁽注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

用途

1 ナビゲーションシステム

仏・独・西の3国合弁企業であるEADS100%出資のエアバス社。その航空機を安全なフライトに導くナビゲーションシステム(慣性航法装置)に「ハーモニックドライブ®」が使用されています。



エアバス社様提供

2 ハワイ島マウナケア山の 大型光学赤外線望遠鏡【すばる】

心臓部の主鏡 (有効口径8.2m) の 歪みを 0.1μ m以内の鏡面に保つため、[N-モニックドライブ®] と[P+ュドライブ®] が組み合わされたアクチュエーター264本が主鏡部裏側に組み込まれ、宇宙誕生の謎を解き明かすべく、130億光年彼方の宇宙を見つめています。



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台様提供

❸ 半導体ウエハー搬送用ロボット

コンパクト、高精度、高剛性、なめらかな動作、そして長寿命。数多くのメリットを備えた「アキュドライブ®」が、クリーンルームで使用されるロボットに使用されています。



株式会社ダイヘン様提供

4 産業用ロボット

小型、軽量、高精度の特長をもつ「ハーモニックドライブ®」が、産業用ロボットの関節部に使われています。休むことなく、正確な動きを繰り返す産業用ロボットは、家電製品や自動車工場などで、世界のものづくりを支えています。



5 乗用車

軽量・コンパクト、そして高い 信頼性を有する「ハーモニック ドライブ®」が、高級乗用車の 部品として組み込まれ、安全で 快適な走りに貢献しています。

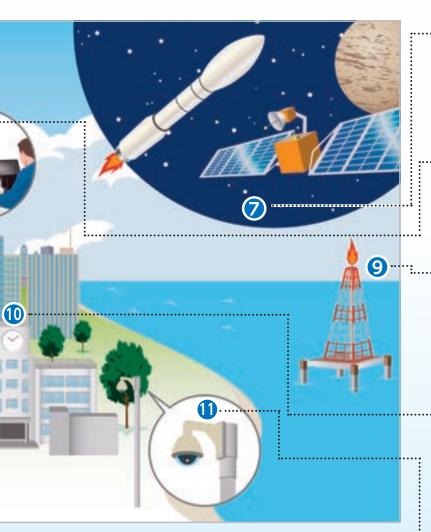


6 脳神経外科手術システム

何より正確なムーブメントが要求される手術システム。卓越した高精度位置決め制御を、「ハーモニックドライブ®」が支えています。



独カールツァイス社様提供



7 宇宙衛星

太陽電池パネルの位置・姿勢制御システム、その駆動部で活躍するのが「ハーモニックドライブ®」です。宇宙空間で使用される「ハーモニックドライブ®」には、苛酷な環境に長時間耐えられるよう、材質・構造に数々のノウハウが注ぎ込まれています。



独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 様提供



3 放送機器

スポーツ中継やテレビスタジオの撮影に使用するロボットカメラに「ハーモニックドライブ®」が組み込まれています。 車輪駆動によって自在に移動し、カメラマンの滑らかな操作を再現しています。

...... **9** 油田・ガス産業向け操舵掘削システム

「ハーモニックドライブ®」は正確な掘削穴と掘削スピードを得るため、下降穴掘削機材の操舵システムに使用されています。このシステムによって、原油またはガスを取り囲む岩の構造を精密に掘削穴を貫くことが可能になり、油井・ガス井での高い生産性が得られます。



Courtesy of Halliburton/ Sperry Drilling Services

10 小型指ロボットモジュール

落下するボール (約4m/s) を指先で つまむことのできるロボットハンド で、各関節部には、「ハーモニックド ライブ®」を内蔵したアクチュエータ ーが使用されています。

当社は未来のモーションコントロールを切り拓くため、大学や研究機関との積極的な連携を図っています。



東京大学大学院 石川研究室様提供

小型・軽量・高精度の特長を持つ「ハーモニックドライブ®」が監視カメラの駆動部 (雲台) に使われています。 滑らかかつ正確な動作で高画質の画像を撮影しています。



№ ヒューマノイドロボット 【ASIMO】

ロボットの腕や足に「ハーモニックドライブ®」が使われています。次世代のロボットは、限りなく人間に近づいていくと考えられます。



本田技研工業株式会社様提供

トピックス

新工場棟の竣工

新工場棟「Musser West KAN」の完成

2016年4月18日 (月) に新工場棟「Musser West KAN」の竣工式を行いました。本投資により、月次生産能力80,000台 (現在50,000台) の準備が整いました。今後は、需要動向を見極めたうえで新たに生産設備を導入し、高効率で高品質な生産体制を構築してまいります。



【Musser West KAN の特徴】

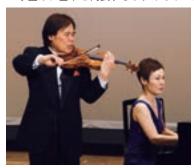
- ・傾斜地を利用した半 地下構造により、振 動を抑制
- ・半地下構造での地熱 の活用により空調コ ストと環境負荷の軽減
- ・建物の高さを抑え、 景観に配慮

ハーモニックコンサート

第33回ハーモニックコンサート

2016年5月28日 (土) 安曇野市豊科公民館において第33回ハーモニックコンサートを開催しました。

今回は、日本を代表するヴァイオリニスト徳永二男様(ヴァイオ



リン)と林絵里様(ピアノ)をお迎えしてのヴァイオリンリサイタルでした。コンサートではストラディバリウスとグァルネリウスの弾き比べもしていただきました。会場にお集まりいただいた約600名のお客様は、美しく卓越した演奏に酔いしれておりました。

機械要素技術展

第20回機械要素技術展に出展

会期:2016年6月22日(水)~24日(金)



当社ブースはここ数年で最も広く、 大型デモ機を数多く展示しました。多 くのお客様に間近で用途例をご覧いた だくことにより、具体的な引き合いを 数多く頂きました。



株主様工場見学会

第7回株主様工場見学会を開催

2016年9月21日 (水) 当社穂高工場におきまして、「株主様工場見学会」を開催しました。

前日までの台風の影響が 心配されましたが、38名の 株主様にご参加いただきま した。実際の製品を使って 製品説明を行い、加工や組 み立て現場へご案内いたし ました。株主様には当社へ のご理解を深めていただけ たと存じます。





グループ会社及び海外拠点



アメリカ

HD Systems, Inc.

ハーモニック・ドライブ・アーゲー

- 所 在 地:ドイツ国へッセン州
- 事業内容:減速装置及びメカトロニクス 製品の製造・販売

ドイツ Harmonic Drive AG

哈默納科(上海)商貿有限公司

- 所 在 地:中国上海市
- 事業内容:メカトロニクス製品及び 減速装置の販売及び技術 サービス

冷默納科(上海)商貿有限公司

エイチ・ディ・システムズ・インコーポレイテッド

- 所 在 地:米国マサチューセッツ州
- ●事業内容:米国持株会社

シリコンバレーオフィス

- ●所 在 地:米国カリフォルニア州
- 事業内容: 研究拠点

ハーモニック・ドライブ・エルエルシ

- 所 在 地:米国マサチューセッツ州
- 事業内容:減速装置及びメカトロニクス製品の製造・販売

台湾駐在員事務所

- ●所 在 地:台湾台北市
- 事業内容:市場調査及び 技術サポート



SAMICK ADM株式会社

- ●所 在 地:韓国大邱廣域市
- 事業内容: 精密遊星減速装置の製造







株式会社ハーモニック・エイディ

- ●所 在 地:長野県安曇野市
- 事業内容: 精密游星減速装置の製造

株式会社ハーモニック プレシジョン

- ●所 在 地:長野県松本市
- ●事業内容: クロスローラーベアリングの 製诰・加丁

株式会社エッチ・ディ・ロジスティクス

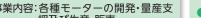
- ●所 在 地:長野県安曇野市
- 事業内容:物流業務等の受託

株式会社ウィンベル

- ●所 在 地:長野県駒ヶ根市
- 事業内容:各種モーターの開発・量産支 援及び生産・販売

青梅鋳造株式会社

- ●所 在 地:東京都西多摩郡
- 事業内容: 鋳造製品の開発・製造・販売



会社情報

概 要 (2016年9月30日現在)

商 号:株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ

Harmonic Drive Systems Inc.

本社所在地 : 〒140-0013

東京都品川区南大井六丁目25番3号

T E L : 03-5471-7800(代表) U R L : http://www.hds.co.jp/

設 立:1970年10月

従業員数 : 559名(連結)

297名(単体)

資本金: 1,610,542,649円

売 上 高 : 145億50百万円(2017年3月期上期) (連 結) 282億78百万円(2016年3月期)

工 場:長野県安曇野市

事業所: 東京都品川区・長野県安曇野市・愛知県名古屋

市名東区•大阪府大阪市淀川区•福岡県福岡市

博多区·台湾台北市

計6ヶ所

取締役会 (2016年9月30日現在)

かまさ 代表取締役会長 代表取締役社長 がでま 取締役 まるやま 取締役 ましまさ 取締役 はるひこ 社外取締役 進見 酒井 社外取締役 なかむら **中村** まさのぶ 社外取締役

監査役会 (2016年9月30日現在)

業務執行体制 (2016年9月30日現在)

社長執行役員 マーケティング・営業担当 (兼)長井 (兼)安江 常務執行役員 グローバル生産担当 常務執行役員 人事・総務担当 哲雄 フェロー(最高技術責任者)執行役員 ハーモニックドライブ研究所長 芳秀 執行役員 概念ハーモニック・エイディ 慷職徴帳 執行役員 品質担当 #[執行役員 コーポレートガバナンス担当 (兼) 丸道 執行役員 開発·技術担当 執行役員 経営企画·財務·会計担当 上條 和俊 まるやま 執行役員 生産、生産技術、サプライチェーン担当 哲明 執行役員 海外営業担当



2016年5月 新工場棟「Musser West KAN」

株式情報



株式の状況 (2016年9月30日現在)

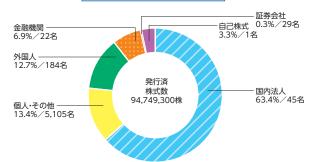
発行可能株式総数 : 356,400,000 株 発行済株式の総数 : 91,597,107 株 株 主 数 : 5,386 名 (注) 発行済株式の総数及び株主数は、自己株式3.152.193株を除いております。

●大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社KODENホールディングス	34,490,700	37.65
ナブテスコ株式会社	18,320,400	20.00
トヨタ自動車株式会社	4,379,400	4.78
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	3,983,400	4.34
伊藤 典光	2,841,600	3.10
太田 美保	2,839,800	3.10
伊藤 光昌	2,267,800	2.47
ビービーエイチ マシユーズ ジャパン ファンド	2,266,000	2.47
ジエーピーモルガンチエース オツペンハイマー ジヤスデツク レンデイング アカウント	921,700	1.00
伊藤 良昌	810,000	0.88

(注) 1. 当社は自己株式3,152,193株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式所有者別分布状況



株王メモ			
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月に開催します。		
剰余金の配当	決算期現在の株主名簿に記載または記録された株 主または登録株式質権者にお支払いします。		
中間配当	中間配当を実施するときは9月30日現在の株主名 簿に記載または記録された株主または登録株式質 権者にお支払いします。		
基準日	3月31日 そのほか必要あるときは、取締役会の決議により、あらかじめ公告して、基準日を定めます。		
株主名簿管理人 特別□座□座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		
事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部		

サナノエ

	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	± 1,0000,01,01,01,01	
	特別口座の場合 (証券会社に口座をお持ちでない場合)	証券会社に口座を お持ちの場合	
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目 8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	お取引の証券会社等へお問い合わせください。	
電話 お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土日祝日を除く9:00~17:00)		
窓口手続き	各種お手続き ■みずほ信託銀行 本店及び各支店 ■みずほ証券 本店及び各支店及び プラネットブース(みず ほ銀行内店舗)		
ご注意	特別□座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式は、左の「特別□をきません。証券会社等に□座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 支払明細発行には、左の「特別□合力の郵便物送が高いた。		
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 みずほ銀行 本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)		

IIDA・KANでは2016年6月より「多彩なる生涯作品の道のり」を展示しております。

右下は、1956年飯田善國が33歳のときに手がけた「平和は女を美しくする」 というタイトルの油彩です。良い夢を見ているような女性の穏やかな表情に は壮絶な戦争体験をした飯田からの平和へのメッセージが込められていると 感じられる作品です。



2016年8月 穂高工場 [IIDA·KAN]



「平和は女を美しくする」

飯田善國(いいだ・よしくに)

1923 (大正12) 年、栃木県足利郡生まれ。慶應義塾大学高等部から応召 (学徒出陣) し中国大陸へ。 戦後は慶應義塾大学に復学し西脇順三郎に師事。卒業後の1948 (昭和23) 年、東京藝術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。1956 (昭和31) 年、野上彌生子との縁でローマに留学しファッツィーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。後、ウィーンに移り1959 (昭和34) 年には抽象裸婦連作を描く。その後本格的に彫刻に転じウィーンやベルリンを拠点に活躍。

1967 (昭和42) 年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属と着色ロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で内外にひろく知られるほか、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。

1997年7月 日本経済新聞に「私の履歴書」を執筆 2006 (平成18) 年没 [享年82歳]

#新会社 /1-モニック・ドライフ。・システムス"

経営企画・財務本部

お問合せ先

〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3 TEL:03-5471-7810 FAX:03-5471-7811 E-mail:ir@hds.co.jp



色覚の個人差を問わず出来 るだけ多くの方に見やすい ユニバーサルデザインにし ています。







この株主通信は植物油インクを 使用しております。

IIDA • KAN

〈IIDA・KAN〉は、当社の技術開発に携わる者が強い意志と豊かな 感性を発養するための場所として作られたギャラリー棟です。



お問合せ: 〒399-8305長野県安曇野市穂高牧1856-1

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ

穂高工場内

TEL.0263-83-6800 http://www.hds.co.jp/

開館時間: 工場稼働日の午前10時~午後4時

(ご来館者に応じて開館)

※音声ガイドもご用意しております。

アクセス: 【車】 長野自動車道安曇野インターより県道495号、

25号経由約20分

【JR】大糸線穂高駅下車、車で約15分

